

新型 BMW X7 目次



市場導入時のモデル・バリエーション	2
車両コンセプトおよびデザイン	
新次元のラグジュアリー	4
インテリアおよび装備品	
エクスクルーシブな雰囲気醸し出すゆったりとした空間	7
パワートレインおよびドライビング・エクスペリエンス	
多様なパフォーマンスとファースト・クラスの快適性	11
ドライバー・アシスタント・システム	
最新鋭のドライバー・アシスタント・システムが快適性と安全性を向上	14
表示および操作システム、BMW コネクテッド、コネクテッド・ドライブ	
デジタル、インテリジェント、コネクテッド	17

ニューBMW X7

市場導入時のモデル・バリエーション



BMW X7 xDrive40i:

直列 6 気筒ガソリン・エンジン、8 速ステップトロニック・トランスミッション、
排気量: 2,998 cc、最高出力: 250 kW[340 ps]/5,500~6,500 rpm、
最大トルク: 450 Nm/1,500~5,200 rpm、
加速性能[0-100 km/h]: 6.1 秒、
最高速度: 245 km/h、
複合モード燃費: 9.0~8.7 リッター/100 km、
複合モード CO₂ 排出量: 205~198 g/km、排出ガス規制: EU6d-TEMP

BMW X7 xDrive50i(欧州地域は導入せず):

V8 ガソリン・エンジン、8 速ステップトロニック・トランスミッション、
排気量: 4,395cc、最高出力: 340 kW[462 ps]/5,200~6,000 rpm、
最大トルク: 650 Nm/1,500~4,750 rpm、
加速性能[0-100 km/h]: 5.4 秒、
最高速度: 250 km/h、
複合モード燃費: 11.4 リッター/100 km、
複合モード CO₂ 排出量: 261 g/km、排出ガス規制: EU6d-TEMP

BMW X7 xDrive30d:

直列 6 気筒ディーゼル・エンジン、8 速ステップトロニック・トランスミッション、
排気量: 2,993 cc、最高出力: 195kW[265 ps]/4,000 rpm、
最大トルク: 620 Nm/2,000~2,500 rpm、
加速性能[0-100 km/h]: 7.0 秒
最高速度: 227 km/h、
複合モード燃費: 6.8~6.5 リッター/100 km、
複合モード CO₂ 排出量: 178~171 g/km、排出ガス規制: EU6d-TEMP

性能、燃費/電力消費量、CO₂ 排出量に関するすべての数字は暫定値です。

BMW X7 M50d:

直列 6 気筒ディーゼル・エンジン、8 速ステップトロンニック・トランスミッション、
排気量: 2,993 cc、最高出力: 294 kW[400 ps]/4,400 rpm、
最大トルク: 760 Nm/2,000~3,000 rpm、
加速性能[0-100 km/h]: 5.4 秒、
最高速度: 250 km/h、
複合モード燃費: 7.4~7.0 リッター／100 km、
複合モード CO₂ 排出量: 193~185 g/km、排出ガス規制: EU6d-TEMP

性能、燃費/電力消費量、CO₂ 排出量に関するすべての数字は暫定値です。

燃費、CO₂ 排出量、電力消費量、および航続距離の数値は、型式認定時に有効であった欧州規格 (EU) 2007/715 に既定されている測定法に従って測定されています。これらの値はドイツにおける基本装備の車両に対するもので、数値範囲はホイール/タイヤの種類及び装着されたオプション装備品による差異を考慮したものであり、構成プロセス中に変化する場合があります。

数値は、新しい WLTP テスト・サイクルに基づく測定値を比較のため NEDC に換算したものです。これらの車両については、税その他の CO₂ 排出量が考慮される課金の評価に際して、ここに示した値とは異なる数値が該当することがあります (国別法規によって異なります)。

新車に関する公式の燃料消費率、CO₂ 排出量、電力消費率に関する更に詳細な情報は「新しい乗用車の燃料消費率・CO₂ 排出量・電力消費率に関するガイドライン」(Leitfaden über Kraftstoffverbrauch, die -Emissionen und den Stromverbrauch neuer Personenkraftwagen) に記載されています。この資料はすべての販売店、DAT (Deutschen Automobil Treuhand GmbH) (所在地: Hellmuth-Hirth-Str. 1, 73760 Ostfildern-Schramhausen, Germany)、<https://www.dat.de/co2/> から無料で入手できます。

車両コンセプトおよびデザイン 新次元のラグジュアリー



BMW は、高級車の新たな定義を提示します。BMW X7 には、風格、高級感、室内の快適性と多様性に加え、スポーツ・アクティビティ・ビークル(SAV)特有の俊敏な走行特性のいずれもが極めて高いレベルで組み合わせられています。この BMW で最新の、また最大の X モデルは、卓越したパワートレインとサスペンション・システムを備え、3 列用意されたシートすべてで感じることをのけるゆとりあるスペース、上質な雰囲気、先進の装備品により、比類ないドライビング・エクスペリエンスとインテリアの心地よさを実現します。BMW の新しいラグジュアリー・セグメント・モデルとなる BMW X7 のエクステリアは、BMW の新しいデザイン手法による現代的でエレガントなムードを伝え、威厳と自信に満ちた、堂々たる風格を備えています。

ニューBMW X7 の導入により、プレミアム自動車メーカーの BMW は、現在ラグジュアリー・セグメントで継続中のモデル攻勢における次のステージへと進みます。これにより同セグメントに対する BMW の影響力は強化され、同時に Number ONE > NEXT 戦略の一環としての BMW X モデルのラインナップ拡張が順調に進み、その結果として世界の自動車市場における将来に向けた持続可能な成長を確実にします。

ニューBMW X7 は、BMW X モデルの専門知識が集約されたコンピテンス・センターである米国・サウスカロライナ州のスパータンバーグ工場で生産されます。この生産拠点では、BMW X3、BMW X4、BMW X5、BMW X6 の各モデルも製造されています。

ニューBMW X7 の世界市場への導入時期は、2019 年 3 月を予定しています。

風格、高級感、現代性の新たな基準を確立

高級車の基準を変える風格を持つニューBMW X7 は、そのサイズも極めて大きくなっています。全長 5.151 メートル、全幅 2.0 メートル、全高 1.805 メートル、ホイールベース 3.105 メートルというサイズが示す調和の取れたプロポーションは、BMW X7 が BMW X モデル・ファミリーの新たな頂点に立つモデルであることを明確に示しています。ニューBMW X7 の堂々とした風格はアップライトなフロント・エンドによって特徴づけられており、車両全体を囲むようにリング状に配されたクローム・トリムによって、独自のキャラクターと印象的な外観が強調されています。くっきりとしたサーフェス・デザインと精密に引かれたラインによる新たな造形が、BMW X7 の現代的で進歩的なオーラを放ちます。

ニューBMW X7 のフロント・エンドでは、BMW にとってこれまでで最大のキドニー・グリルが目を引きまします。このキドニー・グリルと接する細いツイン・ヘッドライトがこのモデルの幅の広さを強調し、比類ない風格を作り出しています。ニューBMW X7 にはアダプティブ LED ヘッドライトが標準装備されます。オプションとして、アダプティブ LED ヘッドライト付き BMW レーザー・ライトが用意されます。このシステムの場合、セレクトティブ・ビーム付き BMW レーザー・ライト・スポットによりハイビーム機能を最適化しており、幻惑防止機能付きハイビームの照射距離は約 600 m に達します。特徴的な片側 2 灯式ヘッドライトの内部では、六角形の光源を分割するブルーの X 型エレメントが視覚的なアクセントを添えています。標準仕様のワイドかつ水平なデザインのローワー・エア・インテークには、デザイン・ピュア・エクセレンス装備車の場合は外側で垂直方向に向きを変える立体的なデザインのクローム・トリムが組み合わされます。アルミニウム製アンダーガードの左右には、フロント・エプロンに一体化されたフラットな LED フォグライトが控え目に配置されています。その他、このモデル特有の特徴として、エンジン・フード上に特大の BMW エンブレムが装着されています。

横から見たときの大きなウィンドウとダイナミックに流れるルーフ・ラインからは、ニューBMW X7 の広々として多くの陽射しが差し込む室内の様子が窺え、このことからこの SAV モデルの後席にたっぷりとした空間があることがわかります。また、快適に乗り降りができるようにリヤ・ドアはフロント・ドアよりも長くなっています。くっきりとした造形のサーフェスと、後方へ向かうにつれて上昇する独特なキャラクター・ラインが、BMW の新しいデザイン手法を特徴付けています。地上高の高さとオプションのルーフ・レールによって、ニューBMW X7 の多彩な機能性が伝わってきます。エア・ブリーザーから始まりそのままリヤ・エプロンまで続くサイド・シル周りのクローム・トリムと、最大 22 インチのアロイ・ホイールを装着可能なホイール・ハウスに装着されたボディ・カラー同色の丸いホイール・ハウス・トリムが、このクルマのエレガントでエクスクルーシブな魅力を伝えてきます。

複数の水平なラインと、左右に垂直方向の継ぎ目のあるテールゲートで構成されたリヤ・エンドのデザインからも、ニューBMW X7 のゆったりしたサイズ感が伝わってきます。スリムな形状の LED テール・ライトとそれらを繋ぐクローム・トリムが、リヤ・エンドをはっきりと二つに分けています。これは今まで、ラグジュアリー・サルーンの BMW 7 シリーズのリヤ・エンドでしか見られなかったデザインです。デザイン・ピュア・エクセレンスの気品あるツイン・エグゾースト・テール・パイプ・トリムと、それらの間に配置されたアンダーガードが、もう 1 つのエクスクルーシブなアクセントとなっています。

ニューBMW X7 には、20 インチ・アロイ・ホイールが標準装備されます。オプション装備品として入手可能なアロイ・ホイールは、21 インチおよび 22 インチのサイズが選べます。

デザイン・ピュア・エクセレンス、M スポーツ・パッケージ、魅力的な BMW Individual のオプション装備品

標準仕様の代わりに選択できるデザイン・ピュア・エクセレンス、M スポーツ・パッケージ、そして魅力的な BMW Individual のオプション装備品は、ニューBMW X7 を自分好みのスタイルに仕立てる様々な可能性を提供します。デザイン・ピュア・エクセレンスでは、マット・アルミニウムのキドニー・グリル・バーや数々のハイグロス・クローム・アクセント、Y スポーク・デザインの 21 インチ・アロイ・ホイールが、この新しい SAV モデルの上質なエレガンスを際立たせます。M スポーツ・パッケージでは、特大のエア・インテーク、M ツイン・スポーク・デザインの 21 インチ・アロイ・ホイール、専用デザインのフロント／リヤ・エプロンとサイド・スカートによって、ニューBMW X7 のダイナミックなポテンシャルを表現しています。このモデル・バリエーションのスポーティな魅力をさらに高めているのが、BMW のラグジュアリー・クラス・モデルの特徴を示すハイグロス・ブラックまたはブラック・クロームのデザイン・エレメントです。ご希望により、トリム・エレメントをハイグロス・クローム仕様にすることもできます。さらに、市場導入時点から BMW Individual の魅力あふれるオプション装備品が用意されています。近寄りがたい魅力を放つエクステリア・デザインに仕立てるため、BMW Individual 塗装のサンストーン・メタリックと BMW 22 インチ・アロイ・ホイールを用意しています。

インテリアおよび装備品

エクスクルーシブな雰囲気を出し出す ゆったりとした空間



BMW X7 のインテリアで印象的な広大な空間は、ラグジュアリー・セグメントで経験することがなかった新たな感動を呼び覚まします。3 列用意されているシートに座るドライバーおよびパッセンジャーの全員が、エレガントな雰囲気の中で驚くほどゆったりとしたスペースを享受することができます。

広々としたサーフェスとくっきりとした構成が、ダッシュボードに現代的な印象をもたらしています。ダッシュボード上のラインの行く先には、自然と調和する形でドア・トリム・パネルが続きます。ダッシュボードとセンター・コンソールにはクローム・アクセント・ストリップに囲まれた大きなインテリア・トリムが装着され、他では得ることのできないエレガントな室内を魅力的に演出しています。BMW X7 には、スポーツ・レザー・ステアリングが標準装備されています。新たにデザインされた標準装備の BMW ライブ・コックピット・プロフェッショナルでは、それぞれの表示が連携する 12.3 インチ・サイズのコントロール・ディスプレイとフル・デジタル式メーター・パネル、およびセンター・コンソールの上品なデザインの操作パネルとの組み合わせにより、先駆的な新解釈による BMW 特有のドライバー・オリエンテッドなコックピットを創り出しています。

センター・コンソール上には、iDrive コントローラー、新デザインのギヤ・セレクター・スイッチ、スタート/ストップ・ボタン、ドライビング・パフォーマンス・コントロール・スイッチ、電気式パーキング・ブレーキ・スイッチの他、エア・サスペンション調整スイッチ、オプションのオフロード・モード・スイッチが明確にグループ分けされて配置されています。ヒーター/エア・コンディショナー用操作パネルも現代的なデザインとなっています。BMW X7 では、ライト・スイッチもボタン式になりました。オプション装備品として、特定の操作部に適用可能な高品質ガラス・アプリケーションが用意されます。この、独特で見た目も手触りも魅力的なデザイン装備品は、ギヤ・セレクター・スイッチ、スタート/ストップ・ボタン、コントローラー、オーディオ・システムの音量調節スイッチに装備できます。

3 列目シートを標準装備し、2 列目のオプションとして 2 人用シングル・シートを用意

ニューBMW X7 のインテリアの広大なスペースと、標準装備される 3 列目シートを含む合計 7 名分のシートによって多用途性が強調されています。3 列目には大人 2 名が長距離ドライブでも十分に寛ぐことのできるフルサイズ・シートが装備されます。ルーフに追加されたガラス・ルーフ・エレメント、カップ・ホルダー、サイド・トリムに内蔵されたアーム・レストによって、長距離ドライブの快適性はさらに高まります。2 列目には、従来通りの後席レイアウトによる 3 人掛けシートが標準装備され、オプションで極めて快適なシングル・シートを 2 つ装備することもできます。このシングル・シートはコンフォート・シートになっており、運転席/助手席シートと同様の調整機能が用意されます。2 列目用シングル・シートには、さらに内蔵式アーム・レストとコンフォート・クッションが用意されます。SAV モデルでは初めて 2 列目の 2 つのシート間にスペースを設け、後席を極めて高級感のある場所に仕立てています。シングル・シートの間のスペースは、3 列目シートへのアクセスにも使えます。

標準仕様、オプション装備品のどちらの2列目シートも前後スライド調整ができ、最大14.5センチメートル(7人乗り仕様)移動させることができます。1列目、2列目、3列目のすべてのシートの前後調整およびバックレスト角度調整は電動式です。2列目シートと3列目シートの折りたたみおよび展開も電動式です。そのための操作スイッチは、運転席側ドア、後席の乗降口、ラゲッジ・ルームにあります。操作ボタンをいっぱいまで押しと2列目シートを完全に前に倒すことができ、より快適に3列目シートに乗り降りすることができるようになります。再度スイッチを押しと、2列目シートを標準の位置まで戻すことができます。チャイルド・シートは、ISOFIXブラケットを使用して極めて安全に、快適に固定することができます。

運転席側ドアに装備された操作パネルから、2列目シートの前後調整ができます。ニューBMW X7のドライバーは、自分の席に座ったままで、運転席だけでなく助手席のシートも前後に移動させることができます。こうすることで、運転席に座ったまま、2列目シートや3列目シートに乗る人の足元を上げ、乗り降りの快適さを高めることができます。その他、後席ドアにもシートおよびバックレスト調整用の操作スイッチがあります。さらに、2列目と3列目のバックレストの折りたたみと展開、そして2列目シートのスライドをラゲッジ・ルームから操作することもできます。ニューBMW X7では、7人乗り仕様または6人乗り仕様ですべてのシートを使っても、326リッターのラゲッジ容量を利用できます。2列目および3列目シートのバックレストを折りたたむと、容量は最大2,120リッターまで拡大できます。荷物を快適に積み込むため、ラゲッジ・ルームのスイッチを操作して標準装備のエア・サスペンションの車高を下げるすることができます。さらにニューBMW X7では、2分割式テールゲートを利用できます。標準装備の2分割式テールゲートは、どちらも電動で開閉操作ができます。オプションのコンフォート・アクセス・システムと組み合わせると、自動および非接触で操作することもできます。

標準装備のヴェルナスカ・レザー・インテリアのほか、オプションでBMW Individualエクステンデッド・メリノ・レザー・インテリアが用意されており、どちらも6つのカラー・バリエーションから選択できます。運転席および助手席用スポーツ・シートにはシート・ヒーターが装備され、オプションでベンチレーション機能も装備できます。2列目および3列目シートにもシート・ヒーターを装備することができます。その他のオプション装備品としては、運転席と助手席にマッサージ機能付きマルチ・ファンクション・シートを用意しています。

標準装備の3ピース式パノラマ・ガラス・ルーフと大きなウィンドウ・エリアによる光あふれるインテリアを実現

標準装備される電動パノラマ・ガラス・ルーフと大きなウィンドウ・エリアとの相乗効果により、ニューBMW X7のインテリアに光あふれる雰囲気を作り出されます。このパノラマ・ガラス・ルーフは、前後のルーフに加えて後ろにもう一つガラス・ルーフが装備されています。そのため、3列目シートの乗員も、降り注ぐ陽光とゆったりとしたスペースを感じられます。フロントおよびセンターのルーフと同様、リヤ・ガラス・ルーフにも電動スライド式ルーフ・ライニングが備わっています。陽射しの強さを調整するには、フロント・ルーフ・エリアにある操作パネルでブラインドを操作します。オプションで入手可能なリヤ・ドア・ウィンドウ用電動サン・ブラインドを組み合わせると、後席乗員用ルーフ・ライニング操作スイッチが装備されます。ルーフ・ライニングのリヤ・セクションは、さらに個別のスイッチで3列目シートからも操作できます。

パノラマ・ガラス・ルーフのスカイ・ラウンジは、夜間、ガラス・パネルに導かれた LED の光が 15,000 個以上ある点状のグラフィック・パターンに投射されて星空のように輝き、比類ないムードを演出します。この趣ある照明の光の色は、好みに応じて変更することができます。

贅沢なドライブを楽しむためのエア・コンディショナー、インテリア・ライト、エンターテインメント・システム

ニューBMW X7には、さらに4ゾーン・エア・コンディショナーが標準装備されています。オプションとして、3列目シートに独立した操作スイッチとエア吹き出し口が追加された5ゾーン・エア・コンディショナーを用意しています。同じくオプション装備品のアンビエント・エア・パッケージは、選択可能な8つのアロマ・バリエーションでインテリアの空気をイオン化し、芳香効果をもたらします。センター・コンソールの最前列に用意されたカップ・ホルダーは、オプションで保温／保冷機能を装備でき、ここに収納する容器を冷たい状態または温かい状態に保つことができます。オプションのワイヤレス充電機能付きテレフォニーは、対応する携帯電話をカップ・ホルダー前方のトレイに置いてワイヤレスで充電することができます。

標準装備のアンビエント・ライトも、ダッシュボード、センター・コンソール、ドア・トリム・パネルの輪郭線に沿って正確に配置されたLEDアクセント・ライトによって、夜間走行時にはゆったりとしたスペースの広さを感じさせます。iDrive操作システムを通じて6色の照明やさまざまな設定を選ぶことで、照明のムードを個別に選択できます。アンビエント・ライトの機能範囲には、ドア・ロックを解除したときやドアを開けたときに足元付近を照らすウェルカム・ライト・カーペットの他、たとえばエンジン作動中にドアを開けるとドア・トリム付近で明滅したり、電話の着信があったときにダッシュボード周りで明滅したりするなど、予め定義された状況でライトを明滅させてシグナルを送るダイナミック・インテリア・ライトが含まれています。

ニューBMW X7に標準装備されているHiFiスピーカー・システムは、10個のスピーカーからパワフルなサウンドを生み出します。オプション装備品として16個のスピーカーを備えたHarman Kardon サラウンド・サウンド・システムでは、様々な音楽プログラムを楽しむことができます。さらに極めて上質なサウンドを提供するシステムとして、20個のスピーカーと1,500ワットの出力を持つアンプで構成されるBowers & Wilkins ダイヤモンド・サラウンド・サウンド・システムを用意しています。このサウンド・システムは、デジタル7チャンネル・アンプとルーフ・エリアに追加されたスピーカーによって、すべてのシートで魅力的かつクリアで臨場感のある立体的なサウンドをお楽しみいただけます。同じくオプションの後席エンターテインメント・プロフェッショナルには、大画面10.2インチ・フルHDタッチスクリーン・モニターが2個、ブルーレイ対応DVDドライブ1個、USBポート2個、HDMIソケット1個、ヘッドホン・ジャック2個が含まれます。3列目シートにも、さらに2つのUSBポートが用意されます。このシステムでは、新しい表示および操作システムであるBMWオペレーティング・システム7.0によるエンターテインメント機能の選択や操作が行えます。後席乗員は、自分の座席のメディア・ソースだけでなく、前席で使用しているメディア・ソースにもアクセスすることができ、さらにナビゲーション・マップやBMWコネクテッド・ドライブ・サービスも利用可能です。

特別なインテリア・デザイン:デザイン・ピュア・エクセレンスおよび M スポーツ・パッケージ

デザイン・ピュア・エクセレンスおよび M スポーツ・パッケージは、特別なデザインによってニューBMW X7 のインテリアにさらに個性的な雰囲気をもたらします。どちらの装備パッケージにも、シートに施された専用コントラスト・シームや M GmbH カラーのトリム・エレメント、特別仕様の照明付きエントランス・ストリップが追加されます。M スポーツ・パッケージには、M スポーツ・ステアリング、アンソラジットの BMW Individual アルカンタラ・ルーフ・ライニング、M 仕様のペダル類、運転席フットレスト、シート・パイピング、専用インテリア・トリムが含まれます。

ニューBMW X7 の市場導入と同時に、インテリアをより個性的にデザインすることのできる BMW Individual 特選オプションを選択できます。BMW Individual エクステンデッド・レザー・メリノ・インテリアの他、アイボリー・ホワイト/ミッドナイト・ブルーの 2 トーン仕様の BMW Individual メリノ・フル・レザー・インテリアが用意されています。さらに、2 つの極めて上質な BMW Individual ファイン・ウッド・インテリア・トリムを用意しています。

パワートレインおよび ドライビング・エクスペリエンス 多様なパフォーマンスと ファースト・クラスの快適性



ニューBMW X7 のパワフルなエンジン、インテリジェント四輪駆動 BMW xDrive、新しく、精密にセットアップされたサスペンション・システムが、ラグジュアリー・セグメントにおける運動性能、卓越性、多用途性という比類無い組み合わせを実現させました。しかも、BMW X ファミリーで最大のこのモデルは、未舗装地帯におけるオフロード性能と舗装路における走行快適性および俊敏なハンドリングを融合させた BMW のスポーツ・アクティビティ・ビークルならではの特徴を備えています。

市場導入時のエンジン・ラインナップは、BMW X7 xDrive50i が搭載する新開発 V8 ガソリン・エンジン(欧州地域には導入せず)、BMW X7 xDrive40i が搭載する直列 6 気筒ガソリン・エンジン、ならびに BMW X7 xDrive30d および BMW M パフォーマンス・モデルの BMW X7 M50d に搭載される 2 種類の直列 6 気筒ディーゼル・エンジンとなります。ガソリン・エンジンに採用される BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジーは、ターボ・チャージャー、高精度ガソリン・ダイレクト・インジェクション・システム、無段階可変バルブ・タイミング制御システムのバルブトロニック、可変カムシャフト制御システムのダブル VANOS で構成されます。ディーゼル・エンジンには、ターボ・チャージャーとピエゾ・インジェクター付きコモンレール式ダイレクト・インジェクションというテクノロジー・パッケージが組み合わされます。すべてのエンジンは、8 速ステップトロニック・トランスミッションにパワーを供給します。ガソリン・エンジンの排出ガス制御システムには、粒子状物質の排出を最小限に抑えるガソリン微粒子フィルターが装着されています。ディーゼル・モデルには BMW ブルー・パフォーマンス・テクノロジーを装備し、これには微粒子フィルター、酸化触媒コンバーターおよび NO_x 吸蔵触媒コンバーターその他、窒素酸化物の排出量を削減する AdBlue 噴射式 SCR 触媒コンバーターも含まれています。これらにより、すべてのモデル・バリエーションが Euro 6d-TEMP 排出ガス規制をクリアしています。

快適かつダイナミック:8 速ステップトロニック・トランスミッション

ニューBMW X7 のエンジンからのパワーは、8 速ステップトロニック・トランスミッションに伝達されます。この最新型トランスミッションでは、ギヤ・スプレッド(最低ギヤの変速比/最高ギヤの変速比)がさらに拡大され、新しいコントロール・ユニットを採用しています。これにより特に高いギヤで走行しているときのエンジン回転数が低下し、駆動系全体の効率化に寄与します。走行快適性およびシフト快適性を改善するため、8 速ステップトロニック・トランスミッションには新世代のトーション・ダンパーが装備され、ドライブ・トレインの回転ムラを減少させます。またコンバーター・スリップの低減により、快適性が向上しています。さらに油圧コントロールを改善し、よりスポーティなシフト特性を実現しています。

精密なパワー配分: 四輪駆動システム xDrive の効率を改善し、リヤ・アクスルに電子制御ディファレンシャル・ロックを装備

ニューBMW X7 のインテリジェント四輪駆動システムも、最大のトラクション、俊敏な走り、優れた走行安定性を実現するための一翼を担います。この最新型の BMW xDrive システムは、状況に応じて、かつてないほど精密に前後のホイール間の駆動トルクを可変配分することができます。電子制御式四輪駆動システムとダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC) が連携することで、あらゆる路面条件や気候条件下での卓越した、安全な走行特性を実現します。また、効率性を向上させるため、四輪駆動が必要でない状況では、全駆動トルクをリヤ・ホイールへ送ります。また xDrive システムは、BMW 特有のドライビング・エクスペリエンスを愉しむことができるように、ダイナミックな走行状況での後輪駆動特有の走りを意識したセットアップが行われています。

パワートレインのスポーティな特性をサポートするため、BMW X7 M50d には M スポーツ・ディファレンシャルが標準装備され、BMW X7 xDrive50i にはオフロード・パッケージと組み合わせて装備されます。このシステムもダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC) と連携しており、リヤ・ディファレンシャル内の電子制御ディファレンシャル・ロックによってコーナリング中のカーブ内側と外側のホイール間の回転数差を制限し、ダイナミックな走行状況でのトラクションを最適化します。これにより、例えば高速でコーナリングする際のアンダーステア傾向を打ち消します。そのために、グリップを失って空転気味になっているカーブ内側のホイールの路面に伝えることのできない駆動力を、ブレーキを作動させて無力化させるのではなく、意図的にカーブ外側のホイールに配分します。この電気モーターによって生成される差動ロック効果により、BMW X7 は実感できるほどダイナミックにカーブに進入し、カーブの出口ではより大きな駆動トルクをかけて加速することができます。この M スポーツ・ディファレンシャルも、グリップ力を失っているホイールの空転を抑えてオフロード時や後輪の左右で摩擦係数が異なる路面を走行する際の駆動力伝達やトラクションを最適化させます。

快適性、俊敏性、オフロード性能のために完璧にセットアップされたサスペンション・システム

ニューBMW X7 では、特有の車両コンセプトや卓越したパワートレイン・テクノロジーに合わせて完璧にセットアップしたサスペンション・システムを実現しました。ダブル・ウィッシュボーン式フロント・アクスルと 5 リンク式リヤ・アクスルの組み合わせは、高級車に相応しい快適性と BMW ならではの俊敏な走りを実現するための理想的な前提条件となっています。

ニューBMW X7 M50d には、M スポーツ・ディファレンシャル、21 インチ M アロイ・ホイールを標準装備しており、さらにモデル専用サスペンション・セットアップが施されています。これらの装備により俊敏な走りと高いステアリング精度を実現しています。これにより、M パフォーマンス・モデルならではの特徴が、ラグジュアリー・セグメントのモデルの新たな定義として確立されます。

ニューBMW X7 の走行快適性は、標準装備のオートマチック・セルフレベリング・コントロール付き 2 アクスル・エア・サスペンションによってさらに向上しています。極めて低騒音のプレッシャー・アキュムレーター付き電動コンプレッサーからのサスペンションへの空気圧供給はホイールごとに制御され、アンバランスな積載状態も補正することができます。走行を安定化させるダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC) とサスペンションを連携させることで、エア・サスペンションのセンサーで検知した積載状態がブレーキ・コントロールの際にも考慮されます。走行モードを SPORT にしたときや車速が 138 km/h を超えたときは、自動的に車高が 20 mm 下がります。

また、ドライバーがコックピットのボタンを押して地上高を変えることができ、オフロード走行などの際、標準位置から 2 段階、最大 40 mm まで上昇させることができます。さらにラゲッジ・ルームのボタンで積載モードをオンにすれば、車高は 40 mm 下がります。再発進したとき、システムは最後に選択されたモードに自動で戻ります。車高の調整は、エンジンが作動していないときでも行えます。この調整は、車両に装備されたボタンだけでなく、オプションの BMW ディスプレイ・キーからでも可能です。

ニューBMW X7 には、オプションでインテグレイテッド・アクティブ・ステアリングが用意されます。車速に応じてリヤ・ホイールを同位相または逆位相に操舵する四輪操舵システムにより、コーナーでの俊敏性、車線変更時の操舵性、市街地走行での旋回能力が最適化されます。その結果、インテグレイテッド・アクティブ・ステアリング装備車は、狭い駐車スペースへの出し入れがしやすくなり、高速での追越しの際の走行安定性も向上します。

とりわけ優れた、そしてダイナミックな走行特性を実現するのが、アクティブ・アンチロール・スタビライザーに含まれるオプションのエグゼクティブ・ドライブ・プロです。電動スイベル・モーターで作動するアンチロール・スタビライザーは、ダイナミックなコーナリング時に横方向の傾きを極めて素早く正確に補正します。これにより、ステアリングの切り初めの俊敏性と走行安定性が向上し、かつコーナー出口でトラクションを最適化した加速を実現します。さらにこのシステムは、路面の起伏によって生じる片側の車輪への干渉をアクティブに相殺することもでき、直進走行時の快適性を向上させます。

BMW X7 M50d 以外のすべてのモデル・バリエーションに装備できるオフロード・パッケージの装備範囲には、堅牢なアンダー・ガード・エレメントが含まれます。また、装備内容にはメーター・パネルとコントロール・ディスプレイの専用表示、4 つのドライビング・モードを選択するためのセンター・コンソールの追加ボタンも含まれ、標準装備の 2 アクスル・エア・サスペンションとの組み合わせにより、様々な車両セットアップも可能になります。その際は、xSnow (雪)、xSand (砂)、xGravel (砂利)、xRocks (岩) の各モードにより、地上高、xDrive システム、アクセル・ペダル特性曲線、トランスミッション・コントロールに関して、またダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC) の制御介入に関して、それぞれ理想的なセットアップを選択することができます。

ドライバー・アシスタント・システム 最新鋭のドライバー・アシスタント・ システムが快適性と安全性を向上



ニューBMW X7 は、進歩する高級車という考え方に沿って、市場に特有のドライバー・アシスタント・システムを包括的に装備することで快適性と安全性を高めています。これら最新鋭のシステムは、カメラ画像やレーダー・センサーで収集したデータを処理し、様々な状況により強かにドライバーを支援します。渋滞や交通の流れが悪いときなどの単調な状況におけるドライバーの負担を軽減し、困難な走行状況での車両コントロールを最適化します。したがって、これらは自動走行の実現へ向けた最新の進歩が示されているといえます。

BMW X7 には、ブレーキング機能付きクルーズ・コントロールの他、自転車に乗る人も検知してドライバーに注意を促すことができる前車接近警告および衝突回避・被害軽減ブレーキが標準装備されています。オプションのストップ&ゴー機能付きアクティブ・クルーズ・コントロール(ACC)は、車両が停止するまで自動でブレーキをかけ、再び自動で発進することができます。渋滞時の快適性を高めるために、停止から自動再発進までの時間を 30 秒まで延長できます。さらにシステムは、追越し禁止表示機能付きスピード・リミット・インフォで検出した道路標識の制限速度を、15 km/h 以下の偏差で自動的にクルーズ・コントロールに取り込むことができます。

安全性と快適性のための包括的なパッケージ:ドライビング・アシスト・プロフェッショナル

快適で安全な走行のための包括的なサポートを提供するオプションとして、ドライビング・アシスト・プロフェッショナルが用意されています。このコンプリート・パッケージには、渋滞アシスタント機能付きステアリング & レーン・コントロール・アシスタント、およびアクティブ・サイド・コリジョン・プロテクション付きレーン・キープ・アシスタントが含まれます。これらのシステムは、路面の車線表示と前方を走行する車両を検知し、認識した車線を維持して走行するようドライバーをサポートします。ステアリング & レーン・コントロール・アシスタントは、例えば自車が道路工事区間にさしかかった際、道幅が狭くなる箇所でも走行車線を維持するように効果的に支援します。ドライバーがステアリング・ホイールに手を置いているかどうかの検知は極めて敏感で、数本の指でステアリングに軽く触れただけでも反応します。さらに、ドライバーが引き続き注意を払っているかどうかを判別するため、コクピットに内蔵された車内カメラ(欧州地域は 2019 年 4 月以降導入予定)でドライバーの頭部の位置を記録します。この場合、ステアリング・ホイールに手を置いていない時間は最大 60 秒まで延長することができます。

高速道路や中央分離帯のある幹線道路でステアリング & レーン・コントロール・アシスタントを使用すると、車線変更を開始したいときに方向指示器のレバーをワンタッチ・ポジションでしばらく保持するだけでレーン・チェンジ・アシスタントを作動させることができます。隣の車線が空いていて、そこに高速で接近する他の車両がないことをセンサーが検出すると、ステアリング・アシスタントはドライバーが快適に車線変更できるようにサポートします。システムのその他の構成要素として、衝突回避アシスタントがあります。これは、突然現れた車両や歩行者との衝突を避けるのに役立ちます。衝突を回避すべき兆候を検出した場合、システムはステアリング・コントロールへの介入によってドライバーをサポートし、空いている隣の車線へ車両を回避させます。

ドライビング・アシスト・プロフェッショナルには、この他にも様々なアシスタント・システムが含まれます。クロス・トラフィック・ウォーニング（交差交通警告）は、見通しの効かない道路に前進または後退で進入する際の衝突の危険を低減します。さらにドライビング・アシスト・プロフェッショナルには、リア・コリジョン・ウォーニング（後面衝突警告）、優先違反警告、進入違反警告、レーン・チェンジ・ウォーニング（車線変更警告）の各システムが含まれます。最新のレーン・ディパーチャー・ウォーニング（車線逸脱警告）システムは、元の車線へ車両を戻すことを促すアクティブ・ステアリング入力機能（ステアリング・インパルス）も含まれています。

緊急時に積極的に支援: エマージェンシー・ストップ・アシスト

ドライビング・アシスト・プロフェッショナルに追加された構成要素として、エマージェンシー・ストップ・アシストがあります（欧州地域には導入せず）。これは、ドライバーが医学的な理由から突然車両の運転を続けることができなくなった場合に使用するもので、電気式パーキング・ブレーキのボタンを引くと作動します。エマージェンシー・ストップ・アシストは、走行状況と周囲の状況に応じて車両を現在走行中の車線で停止させるか、または路肩や待避所に停止させます。車線変更が必要な場合は、70～100 km/h の車速域で走行中であれば自動的に車線変更を行います。システムは同時にハザード・フラッシャーを点滅させ、インテリジェント・エマージェンシー・コールがコール・センターと接続し、エマージェンシー・サービスに緊急事態を知らせます。

駐車時および操車時の快適性を最大化: リバース・アシストとパーキング・アシスト・プラス

ニューBMW X7 には、フロントとリヤにセンサーを装着したパーク・ディスタンス・コントロール（PDC）が標準装備されます。同じく標準装備のパーキング・アシストでは、縦列駐車をするスペースを自動的に選択して駐車することができます。これによりシステムは、駐車するために必要な加速、減速、操舵、シフトの各操作を引き継ぎます。周囲を監視する完璧な視界を確保するため、リヤ・ビュー・カメラの他、オプションのパーキング・アシスタント・プラスに含まれる車両とその周囲 360°の画像をコントロール・ディスプレイに表示するトップ・ビュー、パノラマ・ビュー、3D ビュー機能も使用できます。さらにドライバーはリモート 3D ビュー機能を使用して、車両とその周囲の現在の 3D ライブ画像をスマートフォンに送信することができます。

BMW の自動運転へ向けた歩みは、リバース・アシストによってさらに前進します。駐車スペースから出るときや狭いスペースで操車する際、このシステムはこれまで自動車業界では見られなかったタイプのサポートを提供します。リバース・アシストは標準装備のパーキング・アシストの構成要素であり、立体駐車場や建物への入口といった狭くて見通しの悪い場所で、自動的に、したがって極めて快適な操作で後退させることができます。リバース・アシストは、最高 36 km/h の速度で最後に前進したルートの手操操作を記録します。その後システムは、最大 50 m の距離まで、以前に前進で通った走行ラインを正確にたどって後退させます。その際、ドライバーが集中すべきことは、アクセルとブレーキの操作と周囲の監視のみです。自動で後退させる場合の速度は、最高 9 km/h です。車両が最後に前進して走行したルートの手操操作を、システムは比較的長い時間記憶しています。そのためニューBMW X7 のリバース・アシストでは、例えば昼間、前向きに駐車した位置から、後にリバースで出すことができます。

表示および操作システム、BMW コネクテッド、 コネクテッド・ドライブ デジタル、インテリジェント、コネクテッド



ニューBMW X7に標準装備されるBMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントは、知性であり、『Hey BMW』という呼びかけに応えるデジタル・キャラクターです。2019年3月以降、インテリジェント・パーソナル・アシスタントは操作システムに統合され、リモート・ソフトウェア・アップグレードによってインストールされます。BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントにより、BMW グループは駆けぬける喜びに革命をもたらし、同時に新たな時代に向けてスタートします。将来的に車両の操作や機能、情報へのアクセスはますます簡単に、言葉を通じて処理できるようになります。リモート・ソフトウェア・アップグレードを通じて実行される定期アップデートにより、スマートフォンと車両はシームレスに絶えず新しい機能や能力が付け加えられます。

BMW がデジタル・キャラクターに

BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントは、日常的な処理や習性を学習し、その後は対応する状況に対処することができます。これによりドライバーをサポートし、ドライバーごとの好みを学習し、例えばシート・ヒーターの設定やナビゲーション・システムで頻繁に利用する目的地(例えば『自宅へ帰ります』)といったお気に入りの設定を熟知します。他のデジタル・アシスタントと異なる独自の特徴としては、ドライバーがデジタル・アシスタントに名前を(『チャーリー』とか『ジョイ』というように)付けられることです。これによってインテリジェント・パーソナル・アシスタントはより強い個性やキャラクターを獲得し、単にドライバーの音声入力を待つばかりでなく、いつもドライバーの横にいて気の置けない話し相手にもなります。また車両の機能を熟知しており、目的に合わせて操作できます。『Hey BMW、寒いね』と語りかければ、このパーソナル・アシスタントは車内の温度を調整します。システムは絶えず技術面の開発が続けられ、将来はさらに多くの好みやお気に入りの設定を学習するでしょう。そしてどんなコマンドにも対処し、どんな質問にも答え、どんな設定にも対応できるように進歩します。

いつでもそばに: デジタル BMW エキスパート

BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントがあれば、いつでも車内にBMWの専門家がいますのと同じです。インテリジェント・パーソナル・アシスタントは、多くの機能を解説すること(『ハイビーム・アシスタントとはどんな機能なの?』)ができ、現在の状態についての情報(『オイル・レベルは大丈夫かな?』)を提供し、不明なことがあれば(『何の警告メッセージがでているの?』)さらに助けてくれます。またドライバーの好みの設定を熟知しており、満足度を高めるために複数の機能を組み合わせて作動させることもできます。例えば『Hey BMW、ちょっと疲れたな』と語りかけると、システムは活性化プログラムを開始させ、照明のモードや音楽、温度を調整し、ドライバーの気分を活性化させます。

万能な助手

インテリジェント・パーソナル・アシスタントは万能な助手です。特に、日常生活で(『Hey BMW、あとどれくらい走れるかな?』)ドライバーをサポートします。目的地までのルート案内も簡単になり、このアシスタントは目的地付近の駐車場を探し、目的地までのルートの交通状況などを知らせ、遅れないように出発の合図を送ります。頻繁に通う目的地も覚えていきます。マイクロソフトの Office 365 やスカイプで接続することもできるので、BMW X7 を移動するオフィスに仕立て、必要であれば電話会議を繋ぐこともできます。

イン・カー・エクスペリエンス:移動の際も気分よく

インテリジェント・パーソナル・アシスタントは、ケアリング・カー機能によってドライバーの気分も気遣います。ケアリング・カー機能には、運転中のドライバーをリフレッシュさせ、緊張を和らげるために、エア・コンディショナー、シート・マッサージ、アロマ(芳香)、音楽などのさまざまな機能を上手に組み合わせた活性化プログラムおよびリラククス・プログラムが含まれます。さらに、ドライバーの個人的な気分に合わせて選べるように、「エグゼクティブ」、「エクスペリシブ」、「プライベート」、「ウェルネス」の4つのイン・カー・エクスペリエンスが用意されています。4つのモードのどれを選択したかによって、ドライバーの気分に合わせて照明、アロマ、シート・マッサージ、ブラインドの効果、シート・ヒーターやシート・ベンチレーションが設定されます。この能動的かつ効果的な機能によって、ドライバーの疲労や緊張を緩和させるだけでなく走行安全性も高めます。パーソナル・アシスタントの各プログラムは、『Hey BMW、ちょっと疲れたな』とか、『Hey BMW、エグゼクティブ・モードにしてよ』と語り掛ければ開始されます。

同乗者を副操縦士に任命できる

ニューBMW X7 では、助手席および後席に乗る同乗者がドライブを補佐する副操縦士になることもできます。ドライバーの同意を前提としますが、コネクテッド・コマンドの機能を通じて同乗者の持つスマートフォンを車両に接続すれば、その後は選択した機能をコントロールできます。その後は副操縦士として BMW コネクテッド・アプリを使ったり、ナビゲーション・システムのルート・ガイドを読み込んだり、あるいは車内のエア・コンディショナーの設定を調整したりして、ドライバーの負担を軽減することができます。

ニューBMW X7 には、ライブ・コックピット・プロフェッショナル付き BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタント、および新しい BMW オペレーティング・システム 7.0 が標準装備され、3年間のサービスが含まれています。その他の機能は、コネクテッド・パッケージ・プロフェッショナルによって追加できます。

BMW デジタル・キー:スマートフォンがキー代わり

BMW デジタル・キーでは、近距離通信(NFC)でスマートフォンを経由してニューBMW X7のロック解除/ロックができます。これにより従来の車両キーは必要なくなります。スマートフォンをドア・ハンドルに近づけてしばらく保持するだけで、車両のロックが解除されます。スマートフォンをワイヤレス充電トレイまたはスマートフォン・トレイに置くと、自動的にエンジンが始動します。BMW コネクテッド経由で利用可能なデジタル・キーは、さらに高い柔軟性を発揮し、最大5名のドライバーでデジタル・キーを共有することができます。BMW デジタル・キーは、Android 8.0以降のNFC対応のすべてのサムスン製 Galaxy スマートフォンで利用することができます。また、この代わりにBMW キー・カードを利用することもできます。この高品質なキー・カードにもNFCテクノロジーを装備しており、対応するスマートフォンと同じ機能を提供します。

新しいデジタル・サービスを使ったコネクテッド・ナビゲーション

「コネクテッド・ナビゲーション」に統合された各種デジタル・サービスを使用して、BMWに乗っていても、また車を降りても、シームレスに状況に応じたルート計画が得られるよう開発が進んでいます。ニューBMW X7のドライバーは将来、さまざまなアプリから自車のナビゲーション・システムに直接、目的地を送信できるようになります。主要な目的地はBMW コネクテッドに登録され、車両と同期されます。そのため、よく使う住所はどのデバイスからでも常に使用できます。特に便利な機能が、新しいパーキング・スペース・アシスタントです。これは目的地に到着する前の適切なタイミングで駐車場探しに関する様々な選択肢をドライバーに伝えます。このサービスには、最も近い立体駐車場の情報や、目的地の近くで駐車スペースを見つけることができる可能性が特に高いルートの提案が含まれます。その際、既存のサービスであるオンストリート・パーキング・インフォメーションやパークナウは、新しいアシスタント機能として自動的に組み込まれます。

適切な情報を適切なタイミングで:BMW オペレーティング・システム 7.0による表示と操作

ニューBMW X7では、メーター・パネルとコントロール・ディスプレイの表示を連携させるための新しいデザインによって、また拡張機能によって、直感的な操作がさらに改良され、さらにドライブに集中できるようになりました。標準装備のBMW ライブ・コックピット・プロフェッショナルは、ステアリング・ホイールの向こう側に画面サイズ12.3インチの高解像度フル・デジタル式インフォメーション・ディスプレイと、同じく12.3インチのコントロール・ディスプレイを備えています。この装備パッケージには、さらに学習型ナビゲーション・システム、容量20GBのハードディスク記録式マルチメディア・システムが組み合わせられます。

BMWライブ・コックピット・プロフェッショナルも、ニューBMW X7に採用されたBMWオペレーティング・システム 7.0の機能を活用できます。最新世代のこのオペレーティング・システムはフル・デジタル・ディスプレイを採用しており、最適な注意制御(アテンション・コントロール)ができるように、ドライバーごとの要求をより強く重視しています。わかりやすい表示や構成、またカスタマイズ可能な表示は、ドライバーに常に適切な情報を、適切なタイミングで提供できるように考えられています。こうすることで、メーター・パネルの中央に配置された新デザインのインフォメーション・ディスプレイには、ナビゲーションの地図を表示できます。コントロール・ディスプレイは最大10ページのメイン・メニューが表示でき、各メイン・メニューには2~4個のライブ・コンテンツ式パッド(タイル)が並べられます。コンテンツと表示をさらにカスタマイズすることができ、たとえば、システムで表示される車両イラストを、実際のボディ・カラーや装備に合わせることができます。また、ドライバーと車両間の直感的なマルチモーダル・インタラクションも、さらに最適化されました。コントロール・ディスプレイ内のグラフィックは操作方法に合わせて変化し、音声入力も、より自然な言葉使いで使えるように改善されています。特別装備品のBMW ジェスチャー・コントロールには2つのジェスチャーが追加され、合計7つのジェスチャーを使用できます。ドライバーは状況に応じて、使い慣れたiDriveコントローラーの他、ステアリング・ホイールの操作部、タッチ操作、音声入力、ジェスチャー・コントロールのいずれからも操作できます。

ライブ・コックピット・プロフェッショナルは、柔軟にデジタル・サービスを追加できるようにするための前提条件です。新しいサービスや既存のサービスは、いつでも追加することができます。BMWのお客様は将来、追加したいデジタル・サービスをコネクテッド・ドライブ・ストアで注文し、リモート・ソフトウェア・アップグレードを通じて車両にインストールできます。このようにすることで、契約期間に応じて3か月間、1年間、または3年間、サービスをいつでも追加することができます。

常に最新の状態:リモート・ソフトウェア・アップグレード

リモート・ソフトウェア・アップグレードにより、ニューBMW X7は常に最新のソフトウェア・レベルに保たれます。すべてのアップデートはワイヤレスで行われ、スマートフォンからBMWコネクテッド・アプリ経由で行うか、あるいは車載のSIMカードを通じて直接車両にダウンロードすることができます。インストール作業は通常のスマートフォン操作と同様に簡単です。アップグレードには安全性の最適化や品質の最適化、新しいソフトウェア・サービス、車両機能の改善に至るまで様々なコンテンツが含まれます。